

Interview



新宿区立下落合図書館 池田周司館長

人が集い情報を発信する図書館づくり 空気感を変える香りに期待

今回は今年3月の開館とともに香りを導入していただいた、新宿区立下落合図書館の池田周司館長に「人が集う図書館づくり、情報発信を行う図書館づくり」についてお聞きしました。

—香りを導入された理由を教えてください—

新宿区立下落合図書館は新宿区中央図書館が41年あった場所に2017年3月11日、新しい図書館として地域の方の期待のもとオープンしました。幅広い年齢層の人が集うような場所にしたいという想いから、本の貸し出しだけでなく、興味を引くような仕掛けや環境づくりの一つとして入口に香りを導入しました。明るく元気な印象を与えること、外から入ってきた時に空気感を変えることを香りに期待して導入に至りました。

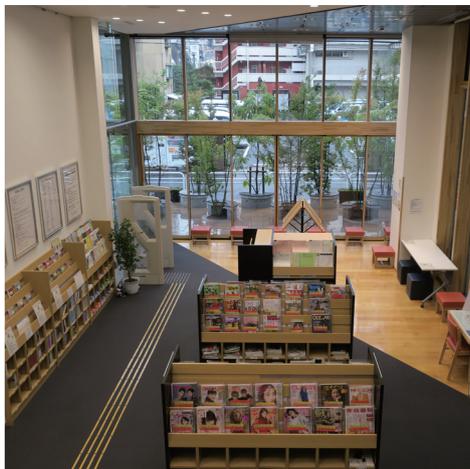
—香りを導入されてからの反応はいかがですか？—

香りがあることで利用者さんの笑顔やリラックスした表情が見られます。より良い読書環境が作れており、居心地がよい空間になっていると感じています。

—今後どのような図書館を目指されていますか？—

図書館ファンの方から、少し図書館利用から足が遠のいている方まで、たくさんの方に向けたきっかけ作りをしていきたいと考えています。例えば、地域特徴を捉えた魅力あるコーナーを設置したり、子育てをされている利用者さん同士が図書館を通じて知り合うことで悩みを解決できるような場にしていきたいと思っています。

また、幅広い年齢の方が集まり同じテーマで学習できる場の提供し、様々な情報発信をする場にしていきたいと考えています。そのためには、ワークショップやセミナーを積極的に行うこと、気兼ねなく地域の方が図書館に足を運べるような空間づくりが大切だと考えています。



Aroma News

香りと音のセミナー

2017年12月7日(木)、新宿区立下落合図書館でセミナー“「音と香りの創造空間」やすらぎ空間セミナー”を予定しております。

AirAromaJapan 代表 柳川舞が実際に香りを嗅ぎながら学べる体験型セミナーを行います。感性を刺激しながら学ぶという新しい学習方法を体感いただける内容になっています。

図書館でセミナーやワークショップを行うことは、利用者さんの香りを使った空間づくりへの理解を深めることに加え、新たな交流の場となり図書館へ足を運ぶきっかけの1つにもなります。



ご希望のテーマや来館者層に合わせて、セミナーやワークショップをデザインすることも可能ですので香りのワークショップについて、ご興味ございましたら、ぜひお問い合わせください。

インタビュー後記

新宿区立下落合図書館は、高い天井に一面ガラス張りの館内に光が差し込み、開放的な図書館です。香りが感じられることで、より明るくリラックスできる居心地の良い空間です。

子育て世代の多い下落合で子供の頃から通って思い出に残るような図書館にしていきたいという館長の想いを香りを通して少しでもサポートできたらと思いました。

About Air Aroma Times

発行元：Air Aroma Japan 株式会社 文責：吉田

158-0097 東京都世田谷区用賀4丁目10番3号
世田谷ビジネススクエアヒルズ2

Office: 03 3709 1836 Fax: 03 3709 1837 www.air-aroma.co.jp

Air/Aroma

アロマに関するご意見・ご質問等、随時募集しています。
mariko.yoshida@air-aroma.com